

事務所の玄関付近に、相談役が大工をしていた頃に親方から頂いたという手作りの墨壺が飾ってあります。

墨壺というのは大工道具のひとつで、材木に直線を引いたり、現場で基準となる線を引いたりする時に使用する道具です。今では樹脂製の量産品がホームセンターなどでも売られていますが、昔は自分で墨壺を作ることが当たりまえだったようです。手作りの墨壺をいくつか見たことがありますが、どれもとても凝ったものでした。

仕事で使う道具にもこだわりを持って、大切に使い込んでものづくりをする職人さん、かっこいいです。



場所：埼玉県所沢市  
工法：木造（軸組工法）平屋  
敷地面積：270.00㎡  
延床面積：103.26㎡  
用途：専用住宅



各部屋にLDからの光が届きます

## 竣工しました 光の届く家

所沢の落ち着いた土地に建て替えられた三十坪の平屋のお家。ご夫婦二人で住まわれています。

家に入ってまず目につくのは玄関の洗い出し。「見るのは六十年前に父親が建てた家以来だ」と感激されたご主人。スッキリと見えるタイルとはまた違い、どこか懐かしく、職人の手仕事や温かみを感じさせるのが洗い出しの魅力です。

建て替える前は朝でも暗かった室内も改善され、庭のある南側の窓から差し込む自然光で部屋を明るく包みます。各部屋に室内窓を設けることで、晴れた日は照明器具に頼らず生活に必要な明るさを取り入れることが出来ます。加えて、室内窓や引戸を開閉することで、状況に合わせて空間をつなげたり仕切ったりすることも可能です。家族が集まったときは空間をつなげて、別の場所においても会話を楽しめ、来客の際は部屋を仕切ってプライベートを確保したりと状況に合わせて過ごす事が出来ます。

お風呂はハーフユニットバスを採用。天井・壁腰上はサワラの縁甲板を張っており、窓からは坪庭を眺めることが出来ます。

細かなこだわりポイントとして、郵便受けやトイレの紙巻器があります。一般的には既製品を採用することが多いのですが、今回はオーダーで造りました。郵便受けにはキエツカーガラスをはめることで意匠性を持たせ、郵便物が届いたときにわかりやすいという利点も加わりました。



サワラ張りの浴室



素材がぬくもりを添える玄関



オリジナルの郵便受

紙巻器は普段使用されている、巻きが大きいめのトイレトペーパーのサイズに合わせて使いやすいうに造りました。

オーダーで何かを造ることは既製品よりも手間と費用がかかりますが、使いやすくなることは勿論、少しこだわって小物を取り付けることで、家だけでなく普段使用する小さなものひとつひとつも愛着のあるものになり、自然と大切に扱うこともできそうですね。

## お家の相談室

Q. エアコンのお手入れって  
フィルターの掃除以外に何かあるの？

A. あります。「オーバーホール」という分解洗浄方法があります。エアコン内部の部品を可能な限り分解して、汚れやゴミを除去・部品の洗浄を行います。日常のお掃除ではフィルターを綺麗にするまでになりますが、それだけだと内部のポンプや熱交換器等のほこりやカビ等は取れません。内部の手の届かない部分に汚れがたまることで、水漏れや故障の原因に繋がる恐れもありますので、気になる方は専門業者をお願いしてみるのも良いかと思います。設置してあるエアコンのメーカーや辰建でも対応が可能です。夏や冬のはじめはエアコン工事に関する問い合わせが殺到し、すぐに対応できない場合が多いので、春や秋の早いうちに問い合わせしてみるのをお勧めします。

Q. 障子・襖の張り替えは依頼できる？

A. できます。一般的な障子紙は勿論、ビニールの両面に和紙をラミネートしており、通常の障子紙に比べ破れにくい強化障子紙にも張り替えが可能です。通常の障子紙よりは金額が上がりますが、何回も張り替える手間や費用を考えると、少し高くなっても丈夫なものに張り替えた方がお得です。襖紙も、様々なデザインのものがあるので、張り替えることでちょっとした模様替えになるかもしれません。

## ショールームのご案内



辰建ショールーム「StudyRoom 本郷」

住 所：東京都文京区本郷 4-34-3 (辰建本社裏)  
営業日：平日 9:00 ~ 17:30 (土日は事前予約により営業致します)  
※事前予約制

前回に引き続き辰建についてご紹介。第一回は先代である相談役についてご紹介しました。次は社長についてかな...と思いましたが、今回は現場監督・岩崎隆についてご紹介します。

辰建スタッフを一つの家族に例えるならば、岩崎さんはお父さんの存在です。難しい仕事の依頼が来ようが、急な仕事が入って休日出勤が続こうが、キリつとバシツと現場を納めてきてくれます。四十六年建設業に携わってきた岩崎さんは建築に関する知識も経験も豊富です。それでも日々の勉強は怠らない岩崎さん。建築情報誌や人の話を見たり聞いたりして、日々建築に関しての情報は積極的に得ようとしています。普通はう〜ん...と頭を悩ませてしまうような仕事でも、「みてみて下田君！こんな仕事やったことないよ！まったく無茶言ってくれるよ〜」なんて言いながらも目をキラキラさせて仕事に取り掛かる岩崎さんを何度も見してきました。わからないことがあれば自分で調べたり、専門家に相談して何が最善かをしっかりと検討します。

## 辰建語り

### 岩崎さんのコト



仕事が立て込んで忙しい時でも、年下の監督たちの相談にも耳を傾けて一緒に考えてくれる、そんな頼れる存在です。仕事中はキリつとしている岩崎さんですが、休憩時には辰建スタッフや職人さんたちと何気ない日常の話を楽しそうにお喋りしたりします。個人的にはご家族の話を少し照れながら嬉しそうに話してくれる時の表情が見えていてほっこりします。

手先も器用なので、自分で出来るような作業は大工さんや職人さんに頼むことなく、パパッと器用にこなしてくれます。「何でもかんでも職人さんに頼まず、自分で出来ることは自分でやって、費用を押さえないとね」と仕事の効率・費用面もしっかり考えて仕事をしています。言葉選びが上手いかといえそうですが、たまたまに少し誤解されてしまうこともあるので、そういった意味では不器用なところもあります。

さてさて、面倒見の良い辰建の頼れる岩崎お父さん、今日も朝早くから「行ってきます」と辰建事務所を出発です！

(下田)

### ◆編集後記◆

段々と寒さが厳しくなってきましたね。朝、ぬくぬくのお布団から出るのが辛くなってきました。辰建ではガスファンヒーターが大活躍の季節です。暖かいです。エアコンに比べてすぐに部屋が暖かくなるように思います。寒くなってくると、私は実家である長野を思い出することが多くなります。私が生まれ育った町は360度山に囲まれた町で、秋は色づいた山々をいつでも眺めることが出来ました。東京ではなかなか秋を見つけることが難しいのでさみしいです。次に帰省するのは冬になるので、雪化粧した山々を眺めながら散歩でもしたいものです。前回に引き続き、編集後記が私の故郷紹介になっているような感じがしますが、今回は違うことに触れたいと思います。創刊号に対して多くの方から感想を頂き、とても励みになりました。本当にありがとうございます。今回も辰建通信に少しでも目を向けて頂けると幸いです。

(下田)

 株式会社 辰建

〒113-0033  
東京都文京区本郷 4-34-15  
TEL:03-3813-2884  
FAX:03-3818-0728  
Mail:info@tatsuken.biz  
http://tatsuken.biz

